



キャンパス / 千葉県八千代市  
学生数 / 2,036人  
学部 / 学校教師、看護、総合経営、英語情報マネジメント、観光ビジネス

## 教員養成でつながる高大接続の取り組み例

課題	仕事のやりがい等を高校生に伝え、全国の教員志望者を増やす
推進体制	秀明大学教育研究所が中心となって「学校教師未来塾」を実施。47都道府県の客員教授(元高校校長など)が各地のセミナーでサポートにあたる。
高校との関係づくり	協定を結んだ千葉県内の高校に学生が週に1度、実習に赴く「学校現場研修」(1・2年次)、夏休みに出身高校を訪問する「ふるさとの教育研究」などの機会を通じて、高校との関係を構築。
入試の工夫	全ての入試方式で、全受験生を対象に15分程度の面接を実施。大学に対する適性、学部の学びに対する適性を教員が直接判断する。

### 学校教師未来塾のプログラム

- 1 開塾式**  
 ● アイスブレイク  
 ● 講話「教師というやりがいのある仕事」  
 ● 体験談「教師への道」  
 ● ワークショップ「理想の教師像」(KJ法により像を浮かび上がらせる)  
 ● 講座「教師のコミュニケーション能力」  
 ● 授業グループ分け
- 2 講座「教師になるには」**  
 (教師に必要な資質・能力、教員免許を取得するには、教員採用試験とは)  
 ● 講座「多様な教師の仕事」  
 ● 講座「授業はどうつくられるか—授業案づくりの実習に向けて—」  
 ● 実習「教科授業案を作るI」
- 3 講座「授業観察の観点」**  
 ● 実習「教科授業案を作るII」  
 ● 希望校種・教科でグループごとに活動、授業リハーサル  
 ● 実習「模擬授業をしてみよう」(1教科15分授業 省察5分)  
 ● 閉塾式 修了証授与

\*3日間のプログラムの一例。内容は実施会場によって異なる。

# 学校教師養成の使命の下、 高校生のキャリア教育を全国展開

## 秀明大学

秀明大学は教師をめざす高校生を対象にしたセミナーを全国で開催、仕事の奥深さとやりがいを知る機会を提供している。この狙いと今後の展望について聞く。

CASE STUDY



学校教師学部 学部長

### 榎森 啓元

えもりひろゆき ● 1994年東京工業大学大学院理工学研究科応用物理学専攻博士課程修了。1995年東京工業大学理学部助手、1997年同大学大学院理工学研究科助手。2006年秀明大学総合経営学部准教授、2022年学校教師学部教授、学部長に就任。

#### 教師の仕事への理解を 深める実践型セミナー

本学は高校生のキャリア教育として、教師をめざす高校生を対象にしたセミナー「学校教師未来塾」(以下、未来塾)を開催しています。これは、教師という職業の魅力を理解してもらおうためのもので、学校教師学部を設置した2008年度から続けている取り組みです。近年、仕事の大変さはかりがクローズアップされ、教員採用試験の受験者が減りつつありますが、小・中学生を対象にした調査では、教師は依然として「将来就きたい職業」の上位に位置しています。教師という職業に憧れを持つ若者が少なくないのであれば、早い段階から仕事の大変さとやりがいを理解し、モチベーション高く教師の道に進んでももらいたい。「先生をめざしたい」と希望する高校生

が全国にもっと増えてほしい。こうした願いが、未来塾の根底にあります。

2022年度は北海道、沖縄を含む全国13か所で未来塾を実施しました。参加者は2日間ないし3日間のプログラムを通して、教師の多様な仕事や、必要な資質・能力についての講演を聞き、授業の指導案を作るグループワークに取り組みます。最終日には、自分たちで考えた指導案を基に、15分程度の模擬授業に挑戦します。

本学は、各都道府県に地元高校の元校長などを客員教授として迎え、地方開催の際は、こうした経験豊富な方々に指導にあたってもらっています。事後アンケートでは、「教師という職業に対する見方が変わった」「大変さと同時に魅力的な要素がたくさんあることがわかった」などの感想が多く寄せられます。

セミナー終了後は、参加者の受講実績を評価し、修了証を発行します。この修了証は高校時代の学習履歴をアピールするものとして、受験する大学の総合型選抜、学校推薦型選抜の出願時に活用するよう伝えていきます。未来塾の修了者からは、毎年20人程度が本学に入学しています。10万円の奨学金を支給する制度も魅力の一つです。

#### 他者との協働の中で 教員に不可欠な力を磨く

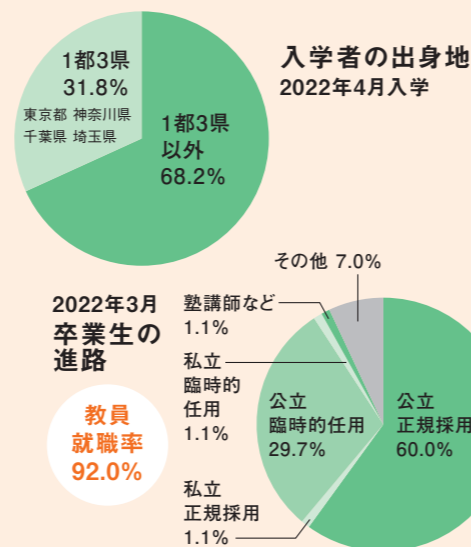
われわれが未来塾で大切にしてるのは、参加者同士の協働の機会です。模擬授業を準備する過程では、初対面の参加者に対して自分の考えを発信し、他者の意見に耳を傾けます。模擬授業の後に感想を語り合う場面も多くあります。参加者には、ぜひ、こうしたやり取りにおもしろさを感じてほしいと思っています。他者と協働して新たなものをつくり上げる力は、これからの時代の学校教員に求められる資質・能力の一つだからです。

加えて、普段、接することのない大人から指導やアドバイスを受けることは、高校生にとって貴重な経験になるでしょう。

今後は、オンラインでの実施と、実施エリアの拡大をめざします。すでに講演部分は動画を配信していますが、高校生はデジタルツールの使用に慣れているため、オンラインでのリアルタイムの協働も可能でしょう。一方で、現場の実験でしか得られないものもあるはず。実施会場をさらに増やし、未来塾を通して全国の教員志望の高校生の背中を押し、育成していきます。

## 注目! 全寮制と実習主義の教育を展開し 教員採用実績を伸ばす

秀明大学学校教師学部は全寮制だ。学校教師を志望する学生が広く全国から集まるのが特徴で、共同生活を送る中で教師として不可欠なコミュニケーション能力を磨く。月曜から木曜までは、通常の授業が終わった夜の時間を活用し、3時間の夜間学修を実施。授業の補習や発展的な学修、教員採用試験対策に取り組む。実習の機会も充実させている。1・2年次の必修「学校現場研修」では、週1度、周辺自治体の小・中・高等学校を訪問し、教育活動に参加。3年次はブレ教育実習として、附属中学で4日間の実習に取り組む。こうした教育の成果は数字にも表れている。2022年3月卒業生の教員採用試験正規合格率は61.1%、臨時的任用を合わせた教員就職率は92.0%を誇る。2023年3月卒業予定者の教員採用試験正規合格率は73.8%になった。「学校説明会で「本気で教師をめざす人に入学してほしい」と伝えていることが響いてか、学生は固い意志を持って入学してくる。われわれも全力で学生を成長させ、優秀な教師として社会に送り出したい」(榎森学部長)。



\*1 未来塾生として優れた成果を上げた生徒が秀明大学学校教師学部に入塾した場合。1年次の後期授業料等から減額。

取材・文 / 本間学 撮影 / 亀井宏昭